

ゴミについて 考えてみましょう

環境省では、毎年、環境基本法に定められた6月5日の「環境の日」を中心とした6月の1か月を「環境月間」として環境に関連する取組を推進しています。今回は私たちの生活と切っても切り離せないゴミ問題について考えてみましょう。

固生活環境課 ☎54-8003

ゴミを減らすため できることから



雑紙を分別しましょう

雑紙は新聞紙や段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙類のことです。お菓子の紙箱や紙袋などさまざまなものがリサイクルできます。雑紙の分別は難しくありません。なるべく資源ごみにして、分別に取り

組みましょう。

汚れた紙や防水加工された紙などは、雑紙として回収できません。リサイクルできるかどうかは、二次元バーコードを確認ください。

▼回収方法：資源ごみの日に回収

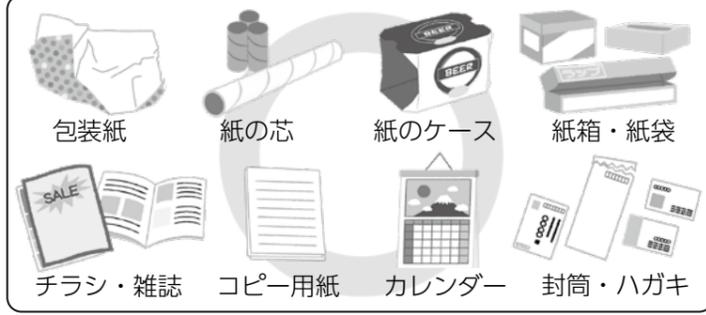


▲紙類分別早見表

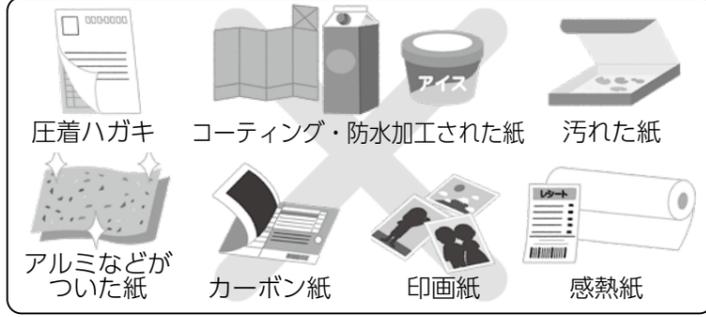


▲リサイクルできない紙類

▶雑紙として出していい紙の例



▶雑紙として出せない紙の例

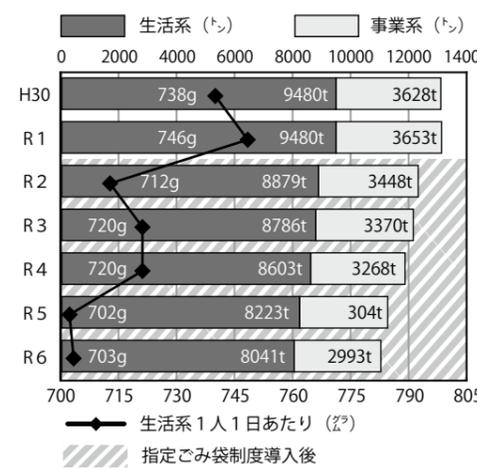


ゴミの排出状況と推移

左の図1は、市における家庭から出る「生活系ごみ」と事業所から出る「事業系ごみ」、生活系ごみの一人一日あたりの排出量の推移を示したものです。

令和6年度の排出量（市集計による速報値）は、生活系と事業系を合わせて11034トンとなっており、近年の人口減少と共にごみの総量も減少傾向にあります。しかし、生活系ごみの1人1日あたりの排出量は横ばいとなっており、全国平均と比べて約200g多くなっています。図2のごみ種別ごとのデータを

図1 一般廃棄物排出量の推移

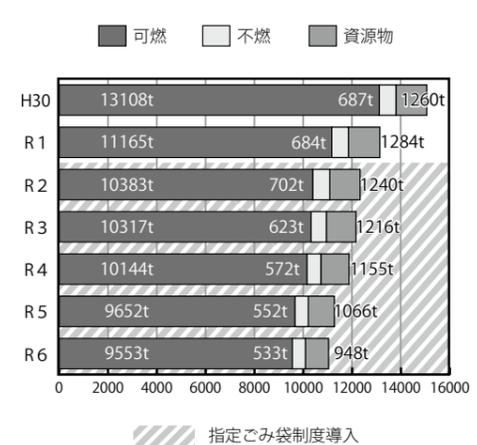


ゴミの処理費用は税金

ゴミの処理には、市民の皆さんから集められた大切な税金が使われています。令和6年度は1年間で、約4億3471万円もの費用（塵芥処理負担金）がかかっており、ゴミを処理する施設の維持にも多くの費用が必要となります。

ごみの量を減らすことや分別して資源ごみとして出すことは、使われる税金を減らすことにつながります。この機会にごみの出し方について考えてみませんか。

図2 一般廃棄物排出量の推移



▶1人1日あたり生活系ごみ排出量（令和5年度）

全国平均 475g

久慈市 702g

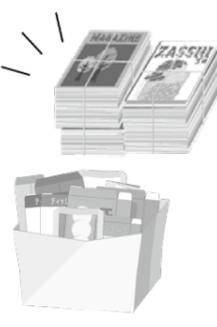
1人1日227gも多くごみを出しているんだ



岩手県3R推進キャラクター エコロル

生ごみは水気を切って

生ごみは焼却処分しています。水分が多く含まれていると燃えにくくなり、焼却をするのにより多くの費用がかかります。捨てる前に絞る、一晩乾燥させるなど、なるべく水気をきって捨てるようにしましょう。



▼雑紙の出し方：金属やプラスチックなどは取り除く。同じようなサイズのもののはひもで縛って出す。大きさがばらばらの紙や小さい紙は、紙袋や封筒にまとめ、縛るか紙製のテープで止めて出す（紙の種類ごとに分ける必要はありません）

生ごみは約80%が水分！



久慈市ごみ分別辞典を利用ください

ごみの出し方に迷ったときは、ごみ分別辞典を利用ください。ごみの品名やキーワードを入力して検索可能。分別名や詳細を押すと分別区分ごとのごみの出し方も表示されます。市公式LINEからも利用できます！

久慈市 ごみサク

検索



▲ごみ分別辞典



公式LINEメニューのごみ出しを選択すると開きます

お盆の供物(こも)収集を廃止します

お盆の供物については、これまで特別に回収し、すべて燃えるごみとして処理していましたが、燃えないごみや資源物の混在が多いことや排出世帯が減少傾向にあることなどの理由で廃止することとなりました。

今後は通常のごみ排出ルールに従い、燃えるごみ・燃えないごみ・資源物に分別して通常の収集日に排出してください。燃えるごみ・燃えないごみは、市指定ごみ袋を利用ください。

【捨てる時のお願い】

■大きい「こも」の処理

大きすぎて袋に入りきらない場合は、小さく切るなどにより袋に入れて排出してください。

■「四十八灯台（お盆に使うろうそく台）」の処理

なるべく釘を取り除き、分解してできるだけ小さくしてください。